



令和4年度 名寄周辺モデル地域  
第2回 物流ワーキングチーム

## 事務局からの情報提供

- ・協議体の設置に向けたアンケート・ヒアリング調査の結果について
- ・協議体の概要について



# 協議体の設置に向けたアンケート・ヒアリング調査の結果について

## ■ 荷主・物流事業者アンケート調査

### 各種アンケート調査の名寄市の中継拠点に関する回答

- 荷主・物流事業者を対象に物流に関するアンケート調査を3種類行った。回答はそれぞれ2,087票、8票、218票を回収した。
- 中継拠点に関する設問において、中継拠点として名寄市を利用している事業者は計3社、名寄市に中継拠点の設置を希望する事業者が4社、道の駅もち米の里・なよろを休憩に使用する事業者は11社、名寄市の中継拠点に魅力を感じると回答した事業者は23社であった。

アンケート種別	事業者分類	対象	回収状況	中継拠点に関する設問	有用な回答
道内トラック物流実態調査	物流	北海道運輸局に運送事業者として登録されている事業者	2,087	中継輸送の実態	2社
				中継拠点の設置希望	4社
				道の駅の利用実態	11社
道北地域の物流動向に関する調査	物流	北海道商工会議所連合会の会員	WEB：2 紙媒体：4	中継輸送の実態	0
				中継拠点の設置希望	0
				名寄の中継拠点の需要	3社
	荷主		WEB：0 紙媒体：2	中継輸送の実態	0
				中継拠点の設置希望	0
				名寄の中継拠点の需要	0
中継輸送・共同輸送に対する需要動向調査	荷主	道外・道央圏と取引のある製造業、卸売・小売業、農林水産業、廃棄物処理の業種の道北地域企業とその取引企業 (帝国データバンクのクラウドサービスを用いて抽出)	218	中継輸送の実態	1社
				中継拠点の設置希望	0
				名寄の中継拠点の需要	20社

# 道北地域物流効率化推進協議会(仮称)の概要について【素案】

## 協議会の運営スキーム

会 長 名寄市商工会議所、ロジ研、名寄市、開発局、運輸局、道庁  
 事務 局 協議会の活動に賛同いただく事業者  
 委 員

※協議会の目的～「道北地域における物流システムの維持・効率化に向けて、名寄周辺を拠点とした共同輸送、中継輸送の実施に関する協議を行う」

引き続き開発局が協議会のサポートを行う

## 協議会の主な活動内容

### 協議会メンバーの物流事業実態及びニーズ把握 (R5以降も継続的に実施)

- 協議会メンバーの物流事業における配車状況の実態等を把握（輸送品目、輸送方面、輸送量、輸送方法等）  
⇒配車状況から共同化が可能な箇所を抽出し共同輸送の可能性・方法等について検討
- 協議会メンバーの物流事業における中継輸送・共同輸送等、名寄周辺を拠点とした物流効率化ニーズを把握  
⇒把握したニーズを整理し、具体的な対応手法を検討、実施に向けての取組実施

※協議会メンバーが抱える課題の解決に向けて検討

### 共同輸送、中継輸送の本運用に向けた検討 (R5以降も継続的に実施)

共同輸送、中継輸送の仕組み、協議会メンバーの営業拠点など活用可能箇所の検討

【R5実証実験】協議会メンバーのほか公募による実施を検討

※R6からの本運用を目指す

### マッチングシステムの導入検討 (R5以降も継続的に実施)

道北地域に最適なマッチングシステム導入に係る検討（求車・求貨システム 等）

### 道北の産業・社会情勢を踏まえた取組の検討 (R5以降も継続的に実施)

生乳・乳製品  
輸送

ふるさと納税  
返礼品輸送

道北地域の産業・社会情勢を踏まえ、共同輸送・中継輸送の可能性・方法等を検討する

# 協議会設立、共同輸送・中継輸送の本運用に向けた流れ

令和4年度

令和5年度以降

物流関連事業者対象アンケート調査

協議会構成メンバーの選定

選定事業者への協議会参加打診・調整

協議会メンバーの物流事業実態把握（輸送品目、輸送方面、輸送量、輸送方法等）

協議会運営に向けた準備

令和5年2月

道北地域  
物流効率化  
推進協議会  
(仮称)  
設立

【事業内容】

1. 共同輸送・中継輸送の実証実験
2. 共同輸送・中継輸送の継続的な実施
3. 共同輸送、中継輸送等の本格運用に向けた課題検討

実証実験に向けた実施スキームの検討  
及び必要なデータの収集協議会内での共同輸送・中継輸送の  
実施に向けた企業間調整（マッチング）共同輸送・中継輸送  
実施に向けた取り組み共同輸送・中継輸送の本運用に向けた  
課題の整理・検討名寄周辺を拠点とした  
共同輸送・中継輸送の本運用

- 道北地域の物流に関連する事業者
- 名寄周辺を拠点とした物流効率化に興味のある事業者

- 協議会規約策定
- 事務局連絡調整
- 資料・会場準備等

▶ 物流拠点を有しない  
中小の物流事業者に着目

- ▶ ○協議会メンバーの物流事業実態及びニーズ把握
- 共同輸送、中継輸送の本運用に向けた検討
  - ・共同輸送、中継輸送の仕組み、協議会メンバーの営業拠点など活用可能箇所の検討
  - ・協議会メンバーのほか公募による実証実験の検討
- マッチングシステム導入検討
- 道北の産業・社会情勢を踏まえた取組の検討